

3. 戦略ごとの施策

ページの見方

5つの柱と15の基本戦略毎に整理した、39の施策の取り組みの方向性をお示しします。

(1) 戦略の柱

ひと **1** 互いながら
小値賀の人材を育み、
確保し、活かすことができるひとづくり

背景

現在小値賀町では、少子高齢化の影響で人口減少が進み、地域やくらし、しごとを支える人材の不足によるサービスや生活環境の低下が課題となっています。また地域やまちづくり活動の人手不足、児童生徒数の減少により教育水準の低下、町内唯一の高校である北松西高校の存続など、様々な分野で問題が内在しています。

令和4年度に行った町民アンケートでは、「人口減少が見込まれる中、小値賀町が目指すまちづくり」の優先度の設問で、「若者が活躍・定着できる魅力的な職場づくり、各職種人材が確保・育成されるまち」を選んだ方の割合が約44%と高かったことから、多くの町民が「活躍や人材の確保・育成を必要としていることが分かりました。また、「結婚・妊娠・出産・子育て」しやすいまち、「子育て世帯と子どもを大切にすまち」「高校の存続と学校教育等教育環境の充実したまち」など、それぞれ約25%の方が優先すべきだと答えており必要性が示されました。

この「ひと」の柱は、人口減少による負の連鎖を、正の連鎖に転換するための戦略として、単に移住者数の増加だけではなく、まちが自立し住み続けるために必要な人材の増加を目指した新しい人の流れの創出と、特に若い世代や子どもの数を増やすための子育てや、子どもから高齢者まで全世代にわたる生涯教育環境整備のための戦略で構成しています。また、移住者施策として、小値賀町に地縁血縁を持つ移住者と、地縁血縁を持たない移住者各層ごとの的確な取り組みを推進していきます。



小値賀子ども園の活動風景



地域子育て支援拠点事業(びよびよ広場)

目指すまちの姿と基本戦略

目指すまちの姿	基本戦略
<ul style="list-style-type: none">子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる社会になっている結婚・妊娠・出産の希望を支援する社会になっている誰もが安全安心に学べ、ニーズに合った魅力的な教育が推進されている	<p>1 「子どもを育てるなら小値賀」の環境を整え、子どもが健やかに学び育ち、安心して子育てができる基盤を創る。 (→P60)</p>
<ul style="list-style-type: none">子どもの成長を支える地域社会となっている子どもからお年寄りまで、様々な場所や形で交流が広がっている	<p>2 子どもから大人まで、様々なつながりの中で互いの成長を支えあえる地域社会を実現する。 (→P64)</p>
<ul style="list-style-type: none">新しい人の流れができ、地元定着率や移住者・関係人口が増加し、地域や産業の担い手となって町民生活を下支えしている	<p>3 住むため、住み続けるために必要な人材を確保する。 (→P69)</p>

成果指標

目標項目	目標値(令和10年度)
地域や産業の担い手の中心となる生産年齢人口	815人
(令和5年度) 住基人口	(令和11年4月1日) 住基人口

① 柱

柱と、その柱が目指す方向性を記載しています。

② 背景

柱に関する背景や、柱を構成する戦略の内容を記載しています。

③ 目指すまちの姿と基本戦略

5年後の目指すまちの姿と、それを実現するための基本戦略を対比できるよう記載しています。また、戦略の掲載ページを記載しています。

④ 成果指標

柱に対する成果指標として、目標項目と現状値、目標値を記載しています。

基本戦略 ①

互いに支えあひながら小値賀の未来を育み、確保し続けることができるひとづくり

⑤ 「子どもを育てるなら小値賀、子どもが健やかに学び育ち育てることができる基盤を創る」

・子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる社会になっている
 ・結婚、妊娠、出産の希望を支援する社会になっている
 ・誰もが安全安心に学び、ニーズに合った能力開発教育が推進されている

現状・問題点

- ・子ども園以外の乳幼児の預かりの場が少ない(子ども園の時間外保育は開園時間の7:30~18:30[月~土]の間のみ。このほかにびよび広場での一時預かりを週3回5時間の範囲で実施中)。
- ・子育てに関する相談窓口が分散していてわかりにくく、妊娠期から子育て期までの一体的な相談支援の充実が求められている。(令和6年度より子ども家庭センター設置が努力義務化される)。
- ・支援が必要な幼児及び児童向けのサービス、医療機関が町内にないため島外への通院を余儀なくされ、多くの時間と費用を要している。
- ・子育てサークルや母の会など、親同士の情報共有や息抜きの場がない。
- ・小値賀町の結婚数は年間数組である。
- ・小中学生の児童生徒数はここ10数年大きく減少している。大島分校の児童数、北松西高校の生徒数は低減している。
- ・北松西高校は普通科のみであり、部活動も限られている。他の高校と比べると魅力が少ない。また授業料の無償化により私立高校にも進みやす状況。
- ・学校施設が老朽化している。

町民の声

- ・「子育て環境について、特に力を入れるべきだと思う項目はどれですか」という問いについて
 - ・第1位 時間外保育等、仕事と子育ての両立支援の充実 (31.9%)
 - ・第2位 公園や子どもの遊び場の整備 (27.9%)
 - ・第3位 子育て相談窓口の設置等、子育て支援体制の充実 (26.1%)
- ・屋内外の遊び場、大きい子どもと小さい子どもを分けて遊べるスペースが欲しい。(小さい子が気をつかうため)
- ・小学生からは、小値賀での困りごとや小値賀にしてほしいこと、遊び場が少なく増やしてほしいとの声が多い。

課題

・子どもの預かり体制の充実	・町民視点の子育てや発達に関する相談窓口の一本化	施策(1)
・町民のニーズに合った子どもの遊び場の整備	・親同士の交流機会の創出または創出支援	施策(2)
・専科の教員の未配置への対策	・学習機会を創出した上で、体系的な教育機会の提供	施策(3)
・教育水準の維持のための留學制度実施に、留學先の確保・充実		施策(4)
・北松西高校志願者の増加		
・老朽施設の計画的な更新		

⑧ 施策と主な取り組み・目標値

DX、シニアプロモーション、少子化

施策(1) 安心して子育てができる支援の充実

分野	主な取り組みと方向性	主体			関係課
		町民	地域	行政	
子育て	●小値賀子ども園の満足度向上 町民等 未来会議 必要な職員を確保した待機児童を出さない保育体制の下、利用者のニーズにあった保育・教育サービスを提供し、満足度の向上を図ります。				子ども園 福祉事務所
	●ファミリーサポート・センター(子育て援助活動支援)事業 乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として児童の預かりの援助を受けることを希望する方(依頼会員)と、援助を行うことを希望する方(援助会員)との間のマッチング、連絡、調整を行います。				福祉係
	●子ども家庭センター運営事業 妊娠から子育て期に関する相談窓口を一本化し、子ども家庭支援員が中心に行うことに加え、子育てに関する相談等(児童福祉機能)と、保健師等が中心に行うこと(母子保健機能)を一体的に行います。 学校教育との連携、関係機関と連携し、子育て支援のあり方を検討します。				福祉係 保健係
	●発達促進のための支援 子育て窓口と併せて、発達についての相談窓口の設置を検討し、言語聴覚士、作業療法士等専門職からの発達支援を受けられる体制の構築を目指します。 発達の訓練等への交通費の助成を行い、利用者の経済的負担を軽減し、療育支援サービスを受けやすい環境の提供で、対象児が適切な療育支援サービスを受けられる環境を整えます。				福祉係 保健係
	●安心して出産・子育てを行うための経済的支援の拡充 出産後の乳児一般健康診査の受診にかかる胎児の補助について検討します。				保健係
●子育て世代の情報交換の機会 町民等 未来会議 子育てサークルをはじめ、子育て世代の情報交換や息抜きの場の提供や支援を行います。				福祉係	
●児童公園や雨の日に遊べる場所の整備 町民等 未来会議 町民アンケートを実施し、ニーズに合った児童公園や雨の日に遊べる場所の整備を推進します。				福祉係	

成果指標

目標項目	目標値の方向	令和10年度	目標値
出産乳児一般健診の受診にかかる胎児補助制度の創設	新規		制度の創設
小値賀子ども園の利用者満足度	93%(令和4年度実績)	↑増加	100%

⑤ 戦略と目指すまちの姿

戦略名と、その戦略が目指すまちの姿を記載しています。

⑥ 現状・問題点と、町民の声

戦略を取り組むにあたっての現状と問題点、ニーズを記載しています。

また、町民アンケートや未来会議等でいただいた意見を町民の声として記載しています。

⑦ 課題

現状、問題点、ニーズに対する課題と、対する施策を記載しています。

⑧ おちから横断プロジェクト

戦略毎に含まれる「おちから横断プロジェクト」に該当する取り組み(SDGs、防災、DX、シニアプロモーション、少子化対策)を記載しています。

⑨ 主な取り組みと方向性



課題に対する、令和6年度から令和10年度の主な取り組みと方向性を記載しています。

町民等 町民アンケートや各種団体等からのご意見を反映した取り組み

未来会議 おちか未来会議のご意見を反映した取り組み

⑩ 役割

「⑨ 主な取り組みと方向性」に対する町民・地域・行政の役割分担を記載しています。

: 主体となって取り組むもの : 支援していくもの

⑪ 成果指標

施策で達成すべき成果指標と数値目標を記載しています。